

台風・豪雨時に備えて避難行動判定フローで「あなたがとるべき避難行動」を確認しましょう！

○「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと自身がとるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき行動は？ さあ、始めてみましょう。

ハザードマップ(※)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップの確認はこちらから→



家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として(※)、自宅の外に避難が必要です。

例外

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高い所にいる
③浸水しても水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分にある

等の場合は、自宅に留まり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市が指定している指定避難所又は指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市が指定している指定避難所又は指定緊急避難場所に避難しましょう